

企業理念

真(ほんとう)に
おいしいものをつくる
～身体にも心にも
未来にも～

詳しくはこちら →

<https://www.ishiifood.co.jp/company/philosophy/>

私たちの取り組み

石井食品の三大原則

検査体制について

詳しくはこちら →

<https://www.ishiifood.co.jp/company/activity/>

「あらためて、ありがとう。
ここから、もう一度。」



ANNIVERSARY

創業者が佃煮の製造をはじめたのは、終戦の翌年、1946年のこと。戦後混乱期中、生きるための食から、その先の未来の「豊かな生活」を実現するため、私たちの挑戦がはじまりました。

そして、80年。真においしいものをつくるため進化し、成長し続けています。

共に歩んできた全てのパートナーに心から感謝を。

そして、これからも手を取り合い、より強固な絆で未来を切り拓いていきます。

みんなの声を
聴き、
かついかすこと

未来・次世代の
ために
取り組むこと

顧客サービス部 南関東チーム
もっと優しく、みずみずしく。
姉崎だいこんハンバーグが
進化しました。

姉崎地区の厳しい寒さの中で、冬を乗り越えるため甘みを蓄えた真っ白な大根。その味をさらに楽しんでいただくため、2025年度は「だいこんの甘味を活かした味付け」と「食感を活かすカット」へ生まれ変わりました。市場規格外の「切」も使用することで生産者を応援しながら、大根の甘みとジューシーさが口いっぱいに広がる、進化したおいしさをお届けします。



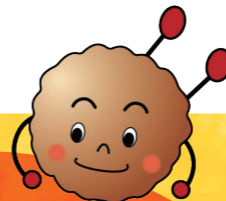
コーポレート
ガバナンスの
強化

コーポレート部 総務グループ

「真においしいもの」は、誠実な企業活動から。
学び続ける組織づくり。

身体にも心にも未来にも、「おいしい」を届けるために。私たちは、社員一人ひとりが高い倫理観を持つことが不可欠だと考えています。そのため、4月の新入社員研修でのコンプライアンス教育に始まり、管理者への契約実務研修、さらには日々の朝礼での事例解説まで、

階層や時期に合わせてきめ細やかな教育を実施しています。社会のルールを遵守し、常に誠実に行動することで、皆様から信頼される企業であり続けます。



活動報告

2025年度 消費者志向自主宣言・フォローアップ報告

消費者志向自主宣言 3つの柱

石井食品では、消費者志向自主宣言の
3つの柱を日々の活動に組み込みました

みんなの声を
聴き、
かついかすこと

未来・次世代の
ために
取り組むこと

コーポレート
ガバナンスの
強化

詳しくはこちら ↓

<https://www.ishiifood.co.jp/csr/consumer-orientation/>

未来・次世代の
ために
取り組むこと

顧客サービス部 名古屋チーム 生産者から子どもたちまで。 京丹波工場で体感する、地産地消の「現場」

大府市の玉ねぎ農家様、市役所関係者様、そして小学生の皆様を京丹波工場にお招きし、工場見学会を行いました。徹底した品質管理のもとで行われる商品作りをご覧ください、石井食品のものづくりへの姿勢をお伝え。試食では大府の玉ねぎを使用したミートボールを味わっていただき、産地と工場がひとつにつながる温かい時間を過ごしました。



みんなの声を
聴き、
かついかすこと

未来・次世代の
ために
取り組むこと

顧客サービス部 南関東チーム

命名100周年の「三浦大根」。 地域と連携し、伝統を未来へつなぐ。



2021年の「キャベツハンバーグ」から始まった、石井食品と三浦市の連携。2025年は「三浦大根命名100周年」の記念イヤーとして、第3段となる「神奈川三浦市の三浦大根を使った和風カレー」も商品化。これからも未来に繋がる取り組みを、地域とともに行っていきます。

みんなの声を
聴き、
かついかすこと

未来・次世代の
ために
取り組むこと

京丹波工場 技術革新グループネオラボ

「まめ」+「たん」ば。町長や教育長も絶賛した、 愛される記念給食

京丹波町の20歳を祝う給食に特別なメニューを届けました。生地に小豆を練り込み、表面に黒豆で「目」をつけたこのメニューは、栄養教諭の皆様との共同開発。地元「まめ」と京丹波の「たん」を掛け合わせて「まめたんハンバーグ」と名付けられました。



みんなの声を
聴き、
かついかすこと

未来・次世代の
ために
取り組むこと

コーポレート部 総務グループ

創業80周年、対話で伝える「現在地」と「未来」。 イシイの株主ミーティング2025開催。



創業80周年の節目に「あらためて、ありがとう。ここから、もう一度。」をテーマに、過去最大規模となる約450名の株主様とご家族・ご友人の方々をお迎えした「株主ミーティング」を開催しました。執行役員が株主様と直接対話する「カタリバ」企画も実施し、公式な総会だけでは伝えきれない事業の背景や想いを共有。次の時代への信頼を深める場となりました。

未来・次世代の
ために
取り組むこと

顧客サービス部 北関東チーム

4.2万人が来場した「新栗まつり」。 高校生パワーで、栗ごはんが大好評!

約42,000人が訪れた※茨城県笠間市の「第19回かさま新栗まつり」。石井食品のブースでは、インターンシップ中の土浦日大高校の生徒たち商品説明から販売までを体験。生徒たちの元気な呼び込みと丁寧な接客により、用意した新栗の栗ごはんは大変ご好評をいただきました。イベント後は生産者のもとを訪れ、栗農園を見学。地域の特産品がお客様の手渡るまでの「バトン」を、実体験を通して学ぶ貴重な一日となりました。



※笠間市公式ホームページより

みんなの声を
聴き、
かついかすこと

未来・次世代の
ために
取り組むこと

顧客サービス部 北関東チーム

生産者1軒からのスタート。 9年かけて育て上げた、「地域と旬」の第1号。

2016年、たった1軒の生産者との取り組みから始まった、大月市産新玉ねぎのプロジェクト。単に買い取るだけでなく、生産者グループ「玉ねぎ研究会」の立ち上げの支援など、地道な活動を続けました。そこから9年、ついに生産者は30軒にまで増加し、生産量は8トンを超える規模へと拡大しました(2025年3月末時点)。



みんなの声を
聴き、
かついかすこと

品質保障部 カスタマーサポートグループ

お客様の「知りたい」に、素早くお応えするために。

「ここが知りたい」「これってどうなの?」。お客様からいただく大切なお声を元に、ホームページの「よくある質問」ページの質問を全て見直しました。特にご質問の多い項目を重点的に見直し、写真を加えることで、より分かりやすく、親しみやすい

ページへと進化させています。いつでも、すぐに疑問を解決できる「頼れる情報源」を目指して。これからも皆様のお声に耳を傾け、サービスの向上に努めてまいります。

